

と、症例 I, II ともに強い滑膜炎が一因と思われた。また症例 I では、関節包前外側壁のヒダ状突出が認められ、肩関節痛を伴う、いわゆる impingement syndrome の所見と類似性があり、興味ある所見と思われた。また、症例 II では精神的要因も考えられた。

### 演題 3. 巨大な茎状突起過長症の一例

○土井尻康浩\*, 宮手 浩樹, 横田 光正  
工藤 啓吾

川久保病院歯科\*, 岩手医科大学歯学部口腔外科学第一講座

今回われわれは、口腔外アプローチで摘出した著しい茎状突起過長症の 1 例を経験し、その治療の概要を報告した。

症例は 44 才男性、左側顎関節部の放散性疼痛を主訴に当院歯科を紹介受診した。既往歴では、昭和 51 年に右側顔面神経麻痺のため薬物療法、昭和 54 年に左側舌咽神経痛にてブロック療法を受け、いずれも完治した。現病歴では、平成 6 年 11 月に左側顎関節部に放散性の疼痛が生じたため、11 月 29 日、当科を受診した。現症では、体格中程度、栄養状態は嚥下痛による摂食困難のためやや不良であった。左側の顎角部、耳介後部と頸部に圧痛が認められ、頭部回旋時には神経痛様疼痛を訴えた。開口量は 12 mm で、開口時および顎運動時にも疼痛があり、嚥下痛も著明であった。口腔内所見では、左側の扁桃窩に硬固物を触知したが、右側の扁桃窩には触知されなかった。パノラマ X 線写真では両側とも茎状突起が 100 mm 前後と著しく過長で、舌骨に近接し、下顎角付近では結節状をなしていた。水平断 CT 写真では、茎状突起基部から、舌骨小角、さらには甲状舌骨靭帯におよぶ化骨像が認められた。臨床検査所見では、特に異常はなく、茎状突起過長症の臨床診断のもと、平成 6 年 12 月 7 日全麻下に両側茎状突起摘出術を行った。左側顎下部に茎状突起を触知し、それに沿って下顎角下方 3 cm の所に皮膚切開を加え、周囲組織を十分に剝離して突起を露出し、前方は舌骨小角部、後方はほぼ基部から骨折させ摘出した。右側はかなり太く、基部での骨折は困難であったため可及的上方で骨折させ、全体の約 2/3 の摘出にとどめた。切除物の長さは右側が 45 mm、左側が 80 mm であった。術直後から、顎関節部の放散痛、嚥下痛などの症状はほぼ消失した。術後、左側に軽度な顔面神経麻痺、舌咽神経麻痺や舌下神経麻痺が一過性にみられ

たが、2 カ月後の現在は改善し、疼痛の再発もなく経過良好である。

演題 4. 不正咬合者における第三大臼歯の発育状態に関する研究—とくに萌出状態と臼歯部空隙との関連について—

○清野 幸男, 石川富士郎

岩手医科大学歯学部歯科矯正学講座

第三大臼歯は、埋状や半埋状などの異常をおこやすく、咬合の安定という面から問題となることが多い。このような症状は、臼歯部における discrepancy が原因といえる。本研究では、臼歯部の discrepancy を解消する時期や必要な空隙量を確立することを目的に、不正咬合者の上下顎第三大臼歯の発育について検討すると共に、第三大臼歯の萌出状態と臼歯部空隙との関連について検討した。

【資料および方法】第三大臼歯の発育に関しては、不正咬合者 102 例 (男子 34 例, 女子 68 例) から得た総数 868 枚のパノラマ X 線写真を用いて歯胚の発育を 7 段階に分類した。第三大臼歯の萌出状態と顎顔面形態との関連の検討には、成人 113 例 (男子 74 例, 女子 39 例) から得た側面頭部 X 線規格写真を用いて検討した。

【結果および考察】第三大臼歯の発育時期には、性差も左右差もみられなかった。第三大臼歯の歯胚の明瞭な透過像は上下顎共に 9.9 歳で認められ、上顎は 10.9 歳、下顎は 10.8 歳で咬頭の一部に石灰化が認められた。歯冠の完成は上顎は 13.3 歳、下顎は 13.2 歳で認められ、歯根形成開始は上顎は 15.2 歳、下顎は 15.5 歳で認められた。これらのことより下顎第三大臼歯の歯胚摘出は、10 歳前後に行う必要があると考えられた。また、第二大臼歯を抜歯して第三大臼歯を萌出誘導するためには、第二大臼歯を 13 歳から 15 歳の間に抜歯することが有利であると思われた。

下顎骨の大きさとの関係では、歯胚形成の早い群の方が顎角部付近の骨幅が大きく、顎骨全体の大きさよりも歯胚形成の場となる局所の高さとの関連が伺われた。第三大臼歯が萌出するための臼歯部の空隙量は、Ptm'-Ms' は男子では平均 25.7 mm、女子では 22.8 mm 必要であった。この値は日本人の標準値よりも大きく、現代日本人では、第三大臼歯は埋状する可能性が高いことが認められた。下顎では Xi-L7 は男子では 27.5 mm、女子では 23.6 mm 必要であり、この値は白人よ